

対応状況報告書

大 学 名：群馬大学
評価実施年度：令和4年度
報 告 年 度：令和6年度

| | |
|---------|--|
| 対象となる基準 | 基準5-3 |
| 改善を要する点 | ○ 医学系研究科生命医科学専攻（修士課程）及び理工学府（博士後期課程）において、実入学者数が入学定員を大幅に下回っている。 |
| 対応状況 | <p>・ 医学系研究科生命医科学専攻（修士課程）：0.73倍（2020～2024年度）と改善されている。</p> <p>上記の改善を要する点の指摘に対して、本学の内部質保証体制により、定員充足のための改善計画の策定、当該計画の検証及び進捗状況の確認をしている。また2024年4月に、社会からのニーズを踏まえ大学院改組（パブリックヘルス学環及び医理工レギュラトリーサイエンス学環の設置に伴い入学定員を15名から9名に変更）をしたことにより、入学定員充足率は2024年4月に133%となり、改善している。5年平均の入学定員充足率は73%であるが、今後も大学院改組により、入学定員の変更を行う予定であることから、入学定員充足率はさらに改善することが見込まれる。</p> <p>【根拠資料・データ】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 認証評価共通基礎データ様式【大学（専門職大学含む）用】様式2（令和6年5月1日現在）・ 内部質保証に関する方針・令和4年度改善報告書・令和5年度改善報告書・ 群馬大学の大学院改革（令和6年4月時点・修士課程の再編） |

(注)

1. 機構で受けた大学機関別認証評価において、「改善を要する点」として指摘された事項の対応状況について記入してください。
2. 「改善を要する点」には、評価結果報告書の「Ⅱ 基準ごとの評価」の【改善を要する点】に記載された内容をそのまま転記してください。
3. 「対応状況」には、「改善を要する点」として指摘された事項に関して改善された状況の具体的な内容及びその改善を実現した取組について、根拠資料・データ等とともに「対応状況」欄に記入してください。

4. 根拠資料・データ等は、その名称を記載のうえ、別添として添付してください。評価結果の追記公表の際に併せて公表しますので、資料番号については、既存資料と重複しないよう、既存資料の資料番号以降の連番としてください。
5. 評価を受けた年度の翌年度を一年度目として起算した場合の三年度目の6月30日までに改善していると判断していない事項については、対応状況欄にその旨のみを記載してください。